

「脳卒中を予防する」 一家に一台、血圧計！



講師：松田和郎

京都大学学際融合教育研究推進センター
健康長寿社会の総合医療開発ユニット 特定講師

(講演要旨)

脳卒中（脳血管障害）は日本人の死因において、がん（悪性新生物）、心疾患、肺炎に続いて第4位を占めています。また、糖尿病や悪性新生物のようにゆっくりと進行する病気と異なり、脳卒中は突然起こり、ひとたび発症すれば重い後遺症を残し、時には生命に関わる病気です。また、脳卒中は心疾患とともに過重労働とも強く関係があります。この病気を避けるためには予防がとても大切です。本講演では、脳卒中のしくみを分かりやすく説明し、効果的な予防法をお話しします。

予定内容：

1. 脳卒中とは何か？
2. 脳卒中の分類（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）
3. 過労死と脳卒中
4. 遺伝と脳卒中
5. 脳卒中の予防法

日時 平成28年2月9日（火）
午前 13時30分～15時（開場13時）
場所 芝蘭会館稲盛ホール（本館2階）
対象 京都大学の教職員、学生、関係者等
一般の方も参加自由です。
申し込み 不要
参加費 無料



※写真と講演内容は関係ありません



※会場の稲森ホールは京都大学医学部構内（京都市左京区吉田近衛町）の北側、左図の芝蘭会館（本館）2階になります。

※駐車スペースがありませんので、お車でのご来場は固くお断りいたします。

主催：医学研究科等安全衛生委員会
共催：健康長寿社会の総合医療開発ユニット
問い合わせ先：医学研究科安全衛生掛
(TEL: 075-753-9482)